

相談する側と
される側もメリット!!

被害者が使いやすい！社会を変える！

心の悩み相談室

今日、学校教育の場で大きな問題となっている、いじめ。
未来の日本を支える人材が何人もいじめのせいで自殺に追い込まれているこの状況は、決して見過ごしていいものではありません。
社会をより良いものにするためにも、私たちはいじめへの対処法を考える必要があるのです。
そこで僕は被害者の目線に立ち、社会をよりよくするいじめ対処法を考えました。

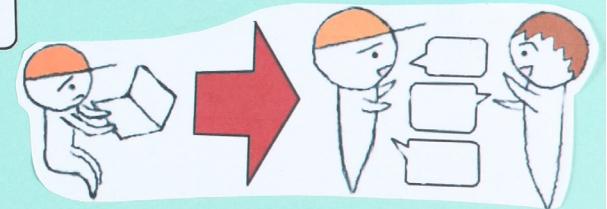
・ランダムでペアを作る

・いじめをネットで解決する



いじめられてつらいよう...

ネットで相談しよう



いじめられている子は先生や親には相談できません。
それまでの人間関係が壊れてしまうのを恐れてしまうからです。
自分が「いじめられている子」として見られたくないのです。
しかし、誰にも相談せずためこんでしまうといずれ耐え切れなくなります。
だからこそ僕はネットの中で見知らぬ他人に悩みを吐き出すことで被害者の負担を軽減し、問題の解決を図るアイデアを考えました。

被害者は相談者としてサイトに登録します。
そしていじめの相談に乗ってくれる解決者とランダムでペアになり、チャット形式で被害者の問題に向き合います。
ランダムでペアを作ることにより、被害者は従来のいじめの掲示板のように悩みを投稿してから回答まで時間がかかるといった問題が解決され、より早く悩みを解決できるようになります。
さらに解決者は相談を選ぶことができず、どんなに深刻な悩みも向き合わなくてはなりません。
そしてその難しい問題について考えることが学校では学ぶことのできない人間性を育むのです。

・相談後、相談者は解決者を評価する



相談者は相談後、解決者をいくつかの項目で評価します。そしてその解決者の評価は公開されます。さらに高校、大学、企業にはこの結果を内申点の一部として加算してもらいます。

このことにより遊び半分で解決者になるといったような無責任な人はなくなり、真剣な話し合いが行われるようになります。

また、最も社会的評価を得たいのは中高生であり、彼らは受験に有利になるために内申点を求めて解決者となります。

最初は内申点目的でいじめ解決に積極的でなくても構いません。はじめは不純な動機でも相談を重ねるにつれ、きっといじめがどんなに深刻か、自分のしてきたことは果たして本当にいじめではないのか、いじめは自分に全く関係のないことではない、身近に起こっていることなのだと考えが変わるでしょう。

そして手に入れた社会的評価にそぐわない立派な人間性を得ることができるはずです。

そうしていじめ問題の現場となっている、中学校、高校のいじめに対して無関心な生徒をいじめに向い合せることができます。

・相談内容を公開できる



相談者、解決者双方の合意があれば相談内容を公開できます。

その内容は大人たち(先生など)が見て実際の子供たちのいじめの現状を知り、新たないじめ対策へのヒントにしたり、悩んでいる子が自分と同じような悩みの子の相談内容を見て、その解決方法を知り、これからの行動に移していくこともできます。

相談内容を公開すれば、それはその場限りのものではなくもっと多くの苦しむ子たちのためになるのです。

いじめをなくして
明るい社会を!!

